

(P1の続き)

能障害が起きたりするなど様々な反応が起こります(図2:ウイルスが感染した体の反応と培養細胞での検証のイメージ)。ウイルスがどのように増殖しているのか、感染細胞では何が起きているのか、分子レベルで解析し、さらに病原性や性質の異なるウイルスを比較することで、病気のメカニズムを明らかにしていくことを目指しています。このほか、SFTSウイルスや他の出血熱ウイルスについても研究を行っており、それぞれの特徴や共通するメカニズムを解析することで、新たな治療法や治療薬の開発につなげていきたいと考えています。

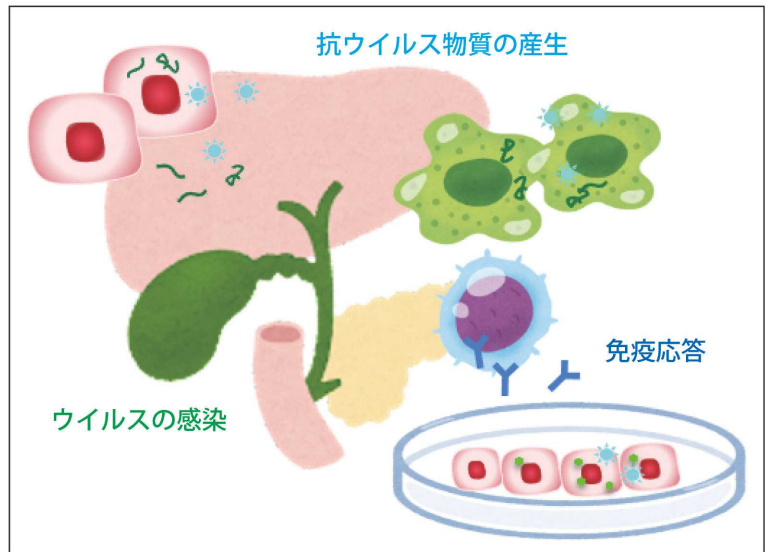


図2 ウイルス感染のイメージ

このような高病原性ウイルスを安全に取り扱うことができるように、高度感染症研究センターではBSL-4施設を含む研究施設を整備し、安全な運用のために準備を進めています。ウイルス学の基礎研究に貢献するとともに、既知の感染症対策に加えて、今後新たな感染症の出現にも対応できるような人材の育成にも取り組んでいきたいと思ひます。

市民公開講座の開催について(要事前申込み)

高度感染症研究センターでは、次の通り市民公開講座を開催します。

講師：川崎拓実 ウイルス免疫動態研究分野 准教授
 演題：感染症と免疫学 ～感染症克服のための免疫学研究の役割は？～
 日時：令和6年3月16日(土) 14:00～15:30
 会場：長崎大学坂本キャンパス 高度感染症研究センター1階
 開催方式：会場及びオンライン(ZOOM)
 会場参加：要事前申込み 先着30名
 オンライン参加：要事前申込み 先着150枠
 申込方法：チラシ・ポスター記載のQRコードまたはホームページから。
<https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp/>

私たちの体にウイルスが感染すると、病気を引き起こすことがあります。一方で、体の中ではウイルスを排除するため、熱が出たり、体がだるくなったりします。熱が出ることは体の中の防御役である「免疫」が働いている証拠です。昨年、私たちはインフルエンザウイルス感染に対する免疫反応について研究成果を発表しました。この講座では、私たちの研究成果をわかりやすくご紹介しながら、免疫学研究者の日々の研究活動や研究にまつわるいろいろなお話もしていきたいと思ひます。



お問合せ先 ご意見・お問い合わせはこちらまでお気軽にご連絡ください。

長崎大学高度感染症研究センター 〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号

フリーダイヤル 0120-095-819 より詳しくお知りになりたい場合は、ホームページをご覧ください。

ファックス 095-800-4301 ホームページアドレス <https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp>

